平成29年第2回（10月）

広島県後期高齢者医療広域連合議会定例会会議録

広島県後期高齢者医療広域連合議会

平成29年第2回広島県後期高齢者医療広域連合議会定例会会議録目次
第1日(10月20日)

出席議員	1
欠席議員	1
説明員	1
議事補助員	2
議事日程	2
会議に付した事件	3
開会・開議宣告(午後1時55分)	3
広域連合長の議会招集挨拶	3
日程第1 仮議席の指定について	4
諸般の報告	4
日程第2 議長の選挙について	5
追加議事日程	6
日程第1 議席の指定について	6
会議録署名者の指名	6
日程第2 会期の決定について	6
日程第3 副議長の選挙について	7
日程第4 議案第12号 広島県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任について	8
日程第5 議案第13号 平成28年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定	9
日程第6 議案第14号 広島県後期高齢者医療広域連合職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	17
日程第7 議案第15号 平成29年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算(第1号)	18
日程第8 議案第16号 平成29年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	20
議了宣告	22
広域連合長の閉会挨拶	22
閉会宣告(午後2時53分)	22
会議録署名	23

広島県後期高齢者医療広域連合議会会議録 第25号

平成29年10月20日（金曜日）広島県医師会館

出席議員

1番	谷	口	修
2番	渡	辺	好造
3番	宮	崎	誠克
4番	三	宅	正明
6番	渡	辺	一照
7番	道	法	知江
9番	吉	田	尚徳
10番	高	田	健司
11番	池	上	文夫
12番	棗	田	澄子
13番	亀	井	源吉
15番	細	川	雅子
17番	井	上	佐智子
18番	秋	田	雅朝
19番	山	本	一也
20番	繁	政	秀子
21番	久留島	元	生
23番	中	川	ゆかり
24番	富	永	豊
25番	大	林	正行
26番	信	谷	俊樹
27番	福	田	義人
28番	久保田	龍	泉

欠席議員

5番	加	藤	忠二
8番	仁ノ岡	範	之
14番	堀	井	秀昭
16番	牧	尾	良二
22番	沖	田	ゆかり

説明員

広域連合長	藏	田	義	雄	
代表監査委員	加	賀	美	和	正
広域連合事務局長	守	田	利	貴	

広域連合事務局次長兼総務課長	谷川昌行
業務課長	大下佳弘
総務課企画財政係長	山根純
業務課課長補佐兼賦課収納係長	三井基光

議事補助員

議会事務局長	亀田賢史
議会事務局次長	当天次美
書記	谷岡英子

議事日程（第1号）

（平成29年10月20日 午後1時55分開議）

日程第1 仮議席の指定について

日程第2 議長の選挙について

追加議事日程

日程第1 議席の指定について

日程第2 会期の決定について

日程第3 副議長の選挙について

日程第4 議案第12号 広島県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任について

日程第5 議案第13号 平成28年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定

日程第6 議案第14号 広島県後期高齢者医療広域連合職員の育児休業等に関する条例の一部改正

日程第7 議案第15号 平成29年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第1号）

日程第8 議案第16号 平成29年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

会議に付した事件
議事日程のとおり

午後 1 時 5 5 分 開 会

○広域連合議会事務局長（亀田賢史）

本日の定例会は、議長が空席となっておりますので、議長が選挙されるまでの間、地方自治法第 107 条の規定によりまして、年長の議員が臨時の議長の職務を行うこととなっております。出席議員中、江田島市の山本議員が年長でございますので、山本議員に臨時の議長として議事の進行を行っていただきます。よろしくお願いいたします。

○臨時議長（山本一也）

ただいま紹介いただきました江田島市の山本でございます。地方自治法第 107 条の規定によりまして、臨時の議長の職務を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

ただいまの出席議員 23 名であります。

地方自治法第 113 条により定足数に達しておりますので、ただいまから平成 29 年第 2 回広島県後期高齢者医療広域連合議会定例会を開会いたします。これより本日の会議を開きます。会議の開会に際しまして、広域連合長の挨拶があります。広域連合長。

◎広域連合長（藏田義雄）

皆さんこんにちは。平成 29 年第 2 回広域連合議会定例会の開会ということで、一言御挨拶をさせていただきます。

本日、定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方におかれましては、大変ご多用のところ御出席を承りまして、誠にありがとうございます。

後期高齢者医療制度につきましては、医療費の増加が心配をされておる中、制度の持続性を高め、負担能力に応じた負担や、また公平な負担を図るといった観点から、国におきまして、保険料及び療養給付費に係ります制度の見直しが進められているところでございます。

当広域連合といたしましては、今後とも国の動向をしっかりと把握しつつ、各市町や関係機関と連携をより一層密にしながら、円滑な制度の運営に努めて参りたいと考えておるところでもございます。

本定例会におきましては、平成 28 年度歳入歳出決算認定をはじめ、補正予算等の重要案件を提出をさせていただいておるところでございます。

これらの案件につきましては、後ほど御説明を申し上げますが、皆様方には何とぞ慎重にご審議の上、適切なる議決を賜りますようお願い申し上げまして、開会にあたりましての御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

○臨時議長（山本一也）

本日の議事日程は、お手元に配付しております議事日程（第 1 号）のとおりでございます。この日程によって議事を進めてまいりたいと思っておりますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○臨時議長（山本一也）

異議ないものと認め、この日程で進めさせていただきます。

△ 日程第 1 「仮議席の指定について」

○臨時議長（山本一也）

日程第 1 「仮議席の指定について」を議題といたします。仮議席は、ただいま御着席の議席といたします。この際、御報告を申し上げます。一身上の都合により、10 名の方から辞職願が提出され、閉会中につき、それぞれ坂町の瀧野純敏議員については 5 月 1 日付け、福山市の宮地徹三議員については 5 月 15 日付け、尾道市の高本訓司議員については 6 月 13 日付け、広島市の児玉光禎議員、竹田康律議員、森島秀治議員、西田浩議員については 6 月 15 日付け、東広島市の山下守議員については 6 月 21 日付け、呉市の池庄司孝臣議員、石崎元成議員については 8 月 22 日付けで許可されておりますことを御報告いたします。

△ 日程第2 「議長の選挙について」

○臨時議長（山本一也）

次に、日程第2「議長の選挙について」を議題といたします。お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定によって指名推選にしたいと思っております。これに御異議はございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○臨時議長（山本一也）

異議なしと認めます。選挙の方法は、指名推選で行うことに決定します。お諮りいたします。指名は、臨時の議長において行いたいと思っております。これに御異議はございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○臨時議長（山本一也）

異議なしと認めます。臨時の議長が指名することに決定しました。それでは、議長に1番谷口議員を指名いたします。お諮りいたします。1番谷口議員を議長の当選人と定めることに御異議はございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○臨時議長（山本一也）

異議なしと認め、よって、1番谷口議員が議長に当選されました。ただいま議長に当選されました谷口議員が議場におられますので、当選の告知をいたします。以上で私の議事進行の職務を終わり、議長に交代させていただきます。誠にありがとうございました。

○議長（谷口修）

ただいま議長に選出していただきました谷口です。

一言御挨拶させていただきます。この度は、広域連合議会の議長に推挙いただき、誠に身に余る光栄であります。身の引き締まる思いです。今後とも議員各位の御支援と御協力を賜りながら、広島県後期高齢者医療広域連合の円滑な議会運営を心がけたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（谷口修）

本日の議事日程は、お手元にお配りしている、追加議事日程（第 1 号の追加 1）でございます。この追加議事日程により議事を進めてまいりたいと思いますが、異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口修）

異議ないものと認めて、この日程で進めさせていただきます。

△ 日程第 1 「議席の指定について」

○議長（谷口修）

それでは、日程第 1 「議席の指定について」ですが、議席は、会議規則第 4 条第 1 項により議長が指定いたします。

議席は、現在着席されている席とします。

なお、本日の会議録署名議員として 12 番棗田議員、23 番中川議員を指名いたします。

△ 日程第 2 「会期の決定について」

○議長（谷口修）

それでは、日程第 2 「会期の決定について」を議題といたします。お諮りします。本定例会の会期を本日 1 日間としたいと思っております。御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口修)

異議なしと認め、よって、会期を本日1日間と決定いたします。

△ 日程第3 「副議長の選挙について」

○議長(谷口修)

次に、日程第3「副議長の選挙について」を議題といたします。お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定によって指名推選にしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口修)

御異議なしと認めます。選挙の方法は、指名推選で行うことに決定しました。お諮りします。指名は、議長において行いたいと思っております。これに異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口修)

異議なしと認めます。議長が指名することに決定しました。それでは、11番池上議員を指名いたします。お諮りいたします。11番池上議員を副議長の当選人と定めることに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口修)

異議なしと認めます。よって、11番池上議員が副議長に当選されました。ただいま副議長に当選されました池上議員が議場におられますので、当選の告知をします。それでは、池上議員を紹介いたします。

○副議長（池上文夫）

ただいま副議長に選任いただきました池上でございます。一言御挨拶をさせていただきます。

このたび、当議会の副議長に御選任いただきまして私にとりまして誠に光栄であります。もとより微力でございますが、議長を補佐して円滑な運営に努めてまいり所存であります。どうぞ皆様のご協力、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。一言御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（谷口修）

この際、御報告いたします。理事者側の説明員として、藏田広域連合長、加賀美代表監査委員、守田広域連合事務局長、谷川事務局次長兼総務課長、大下業務課長、総務課山根企画財政係長、業務課三井課長補佐兼賦課収納係長を呼んでおります。このことを御報告申し上げます。また、議場配付いたしました例月出納検査の結果について、監査委員から議長あての報告書の提出がありましたので御報告いたします。

△ 日程第4 「議案第12号 広島県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任について」

○議長（谷口修）

次に日程第4「議案第12号 広島県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任について」を議題とします。地方自治法第117条の規定により、6番渡辺一照議員の退席を求めます。

○議長（谷口修）

では、本件の説明を求めます。

◎広域連合長（藏田義雄）

（挙手）

○議長（谷口修）

広域連合長。

◎広域連合長（藏田義雄）

ただいま上程をされました議案第12号について御説明を申し上げます。

本案は、池庄司孝臣氏の監査委員の辞職に伴いまして、現在欠員となっております広域連合議員選出の監査委員として渡辺一照氏を選任することにつきまして、御同意をお願いするものでございます。

議案書の履歴書にございますように、渡辺一照氏につきましては、現在、呉市議会副議長の職を務めておられ、知識、経験ともに豊かな方であることから、広域連合監査委員として適任と存じております。

何とぞ、御同意を賜りますよう、お願いをいたします。

○議長（谷口修）

本件は、事後の議事手続を省略して直ちに採決したいと思っております。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口修）

御異議なしと認めます。本件を採決いたします。本件を同意することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口修）

異議なしと認めます。よって、本件は同意されました。退席中の渡辺議員の入場を許可いたします。

○議長（谷口修）

渡辺一照議員の選任については、同意されました。

△ 日程第5 「議案第13号 平成28年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定」

○議長（谷口修）

次に日程第5 「議案第13号 平成28年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定」を議題といたします。本件の説明を求めます。なお、本件の説明につきましては、長くなりますので、座って説明していただいて結構です。

◎広域連合事務局長（守田利貴）

（挙手）

○議長（谷口修）

広域連合事務局長。

◎広域連合事務局長（守田利貴）

ただ今上程をされました議案につきまして、御説明を申し上げます。議案書の1ページをお開きください。

「議案第13号 平成28年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定」でございます。私の方から議案書につきまして御説明をし、歳入歳出決算書附属書類及び主要な施策の成果説明書につきまして、事務局次長及び業務課長に説明をさせます。恐れ入りますが、座って説明をさせていただきます。

議案書の2ページ、3ページをお開きください。一般会計の歳入でございます。表の一番下の歳入合計欄でございますが、予算現額が10億8,441万9千円、調定額、収入済額ともに10億972万1,027円でございます。

次の4ページ、5ページをお開きください。一般会計の歳出でございます。表の一番下の歳出合計欄でございますが、予算現額が10億8,441万9千円、支出済額が10億966万8,685円、不用額が7,475万315円でございます。先ほどの歳入の収入済額から支出済額を差し引きました、5ページ側の表の下、欄外に記載をしております歳入歳出差引残額は52,342円となります。以上、議案書の一般会計につきまして御説明を申し上げます。

次に、附属書類の説明をいたします。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

（挙手）

○議長（谷口修）

広域連合事務局次長。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

それでは、お手元の別冊1歳入歳出決算書附属書類の一般会計について御説明申し上げます。恐れ入りますが、座って説明をさせていただきます。

1 ページ, 2 ページをお開きください。歳入についてでございます。

「1 款 分担金及び負担金」の収入済額は 10 億 943 万 8 千円で, 全額が 23 市町からの事務費分賦金でございます。「2 款 国庫支出金」の決算額は 10 万 4 千円で, 全額が調整交付金でございます。「3 款 財産収入」は, 全額が基金の運用による利子収入で, 収入済額は 6 万 3,786 円でございます。「4 款 繰入金」及び「5 款 繰越金」は, 収入の実績がございません。「6 款 諸収入」の収入済額は 11 万 5,241 円となっております。

続きまして, 歳出について御説明いたします。

1 つ飛びまして, 5 ページ, 6 ページをお開きください。

「1 款 議会費」は, 広域連合議会の開催に係る経費で, 支出済額は 100 万 7,319 円, 不用額は 95 万 6,681 円でございます。「2 款 総務費」は, 事務費や光熱水費, 職員手当や給料等負担金をはじめとし, 新財務会計システム導入費を含む総務管理費並びに選挙費及び監査委員費で, 支出済額は 2 億 9,115 万 2,261 円, 不用額は 2,044 万 9,739 円でございます。不用額のうち, 1,276 万 6,738 円は負担金, 補助及び交付金で, 主に派遣職員給料等負担金の執行残によるものでございます。

9 ページ, 10 ページをお開きください。

中ほどの「3 款 民生費」は, 特別会計への繰出金で, 支出済額は 7 億 1,750 万 9,105 円, 不用額は 4,818 万 895 円で, これは, 特別会計の事務費の縮減を行なったことによるものでございます。

続いて, 一つ飛びまして, 13 ページをお開きください。

こちらは, 一般会計の「平成 28 年度 実質収支に関する調書」でございます。議案書で説明をさせていただきましたように, 「3 歳入歳出差引額」, 及び「5 実質収支額」とも 5 万 2,000 円となっております。

説明は以上でございます。

◎広域連合事務局長（守田利貴）

（挙手）

○議長（谷口修）

広域連合事務局長。

◎広域連合事務局長（守田利貴）

次に, 後期高齢者医療特別会計の決算につきまして御説明を申し上げます。恐れ入ります, 座って御説明させていただきます。

議案書の方に戻っていただきまして, 特別会計は 6 ページからでございます。

6 ページの歳入からでございますが, 1 つ飛びまして, 議案書の 8 ページ, 9 ページをお開きください。

歳入合計欄でございますが、予算現額が 3,944 億 651 万 7 千円、調定額が 3,901 億 4,117 万 4,695 円、収入済額が 3,900 億 6,347 万 2,709 円、不納欠損額が 10 万 280 円、収入未済額が 7,760 万 1,706 円でございます。

次に、歳出でございますが、10 ページから 13 ページにかけて歳出となっております。

1 つ飛びまして、12 ページ、13 ページをお開きください。

特別会計の歳出合計は、予算現額が 3,944 億 651 万 7 千円、支出済額が 3,826 億 2,901 万 9,588 円、不用額が 117 億 7,749 万 7,412 円でございます。

先ほどの歳入の収入済額からこの支出済額を差し引きました、13 ページ側の表の下、欄外に記載しております歳入歳出差引残額は 74 億 3,445 万 3,121 円となり、これらは平成 29 年度に繰り越しをいたします。以上、議案書の特別会計決算につきまして御説明を申し上げます。

次に、附属書類の説明をいたします。

◎業務課長（大下佳弘）

（挙手）

○議長（谷口修）

業務課長。

◎業務課長（大下佳弘）

それでは、別冊 1 歳入歳出決算書附属書類の後期高齢者医療特別会計について、御説明申し上げます。

恐れ入りますが、座って説明させていただきます。

14 ページ、15 ページをお開きください。

「1 款 市町支出金」は、市町が被保険者から徴収した保険料と、医療給付費の 12 分の 1 相当分の市町負担金で、収入済額が 632 億 7,687 万 9,848 円でございます。

「2 款 国庫支出金」は、医療給付費の 12 分の 3 相当の国庫負担金や、広域連合間の財政調整を目的として交付される調整交付金などの国庫補助金で、収入済額が 1,337 億 1,805 万 6,865 円でございます。

16 ページ、17 ページをお開きください。

「3 款 県支出金」は、医療給付費の 12 分の 1 相当分及び高額医療給付費に対する県負担金で、収入済額が 319 億 3,708 万 6,377 円でございます。

続いて、18 ページ、19 ページをお開きください。

「4 款 支払基金交付金」は、現役世代が加入する健康保険組合等から医療給付費の 10 分の 4 相当分が、社会保険診療報酬支払基金を通じて交付されるもので、収入済額が 1,559 億 5,029 万 8,249 円でございます。

「5款 特別高額医療費共同事業交付金」は、全国の広域連合が参加して国保中央会が実施している当該共同事業に拠出し、著しく高額な医療給付費が発生した場合に、国保中央会から交付される交付金で、収入済額が7,546万9,067円でございます。

「6款 財産収入」は、基金の利子収入で、収入済額が262万1,337円でございます。

「7款 繰入金」は一般会計及び基金からの繰入金で、収入済額は7億1,750万9,105円でございます。

続いて、20ページ、21ページをお開きください。

「8款 繰越金」の収入済額は38億8,283万146円でございます。

「10款 諸収入」は、延滞金、預金利子、交通事故など第三者の行為により治療を受けた場合の第三者納付金等を収入したもので、収入済額は5億272万1,715円で、不納欠損額が10万280円、収入未済額が7,760万1,706円でございます。

22ページ、23ページをお開きください。

「10款諸収入 3項雑入 4目第三者納付金」の欄にあります収入未済額についてです。この収入未済額478万4,185円は、平成28年度において収入されていなかったものですが、現在、一部分納中であり、引き続き加害者に納付の請求をしております。

「10款諸収入 3項雑入 5目返納金」の欄にあります収入未済額についてです。この収入未済額7,281万7,521円の主なものは、平成27年度に生じた不正請求に伴う返還金の収入未済額が2件6,800万円となっており、不正請求に伴う未済分については、損害賠償債務承認弁済契約に基づき、分割により返済を受けております。また、収入未済額左側の不能欠損額10万280円については、過去に発生した収入未済であり、督促等、徴収事務を行ったものの収入されなかったため、地方自治法の規定により、5年経過により消滅時効となったものでございます。

続きまして、歳出について御説明いたします。

24ページ、25ページをお開きください。

「1款 総務費」は、給付事業等の運営のための事務経費で、支出済額は7億2,768万5,967円、不用額が1,316万1,033円でございます。

続いて、26ページ、27ページをお開きください。

「2款 保険給付費」は、療養給付費を中心とした被保険者への給付費と審査支払い手数料で、支出済額は3,758億8,508万54円、不用額は117億977万946円でございます。不用額については、平成28年度の診療報酬の改定により、被保険者一人当たりの医療給付費が減少したことが主な要因です。

続いて、28ページ、29ページをお開きください。

「4款 特別高額医療費共同事業拠出金」は、全国の広域連合が参加して国保中央会が実施している当該共同事業に対する拠出金で、支出済額は9,152万8,511円、不用額は815万2,489円でございます。

「5款 保健事業費」は、市町が実施した健康診査事業、歯科健康診査事業、長寿・健康増進事業や低栄養防止・重症化予防等推進事業に対する補助金を交付したもので、支出済額は3億172万110円、不用額は874万2,890円でございます。

これは、市町の補助事業費が見込みを下回ったことによるものでございます。

「6款 基金積立金 1目 後期高齢者医療給付準備基金積立金」は、この基金への利子積立金で、支出済額は、262万1,337円、不用額は663円でございます。

続いて、30ページ、31ページをお開きください。

「8款 諸支出金」は、国庫負担金の返還金や保険料還付金等で、支出済額は56億2,038万3,609円、不用額は942万2,391円でございます。不用額942万2,391円のうち827万7,772円は、保険料還付金が見込みを下回ったことによるものです。

続いて、32ページをお開きください。

特別会計の「平成28年度 実質収支に関する調書」でございます。

議案書で説明させていただいたとおり、「3 歳入歳出差引額」、及び「5 実質収支額」とも74億3,445万3千円でございます。

なお、この実質収支が多額となっておりますが、国庫支出金等の定率負担金について平成28年度中に概算で交付を受けており、決算後医療給付費等の確定に伴い、その所要額が確定したことにより、要返還額約70億円が生じているため、歳入決算額には要返還額相当額が含まれております。

これについては、平成29年度に行う国等への負担金の返還の財源となるものでございます。

続いて、33ページをお開きください。

「財産に関する調書」でございますが、「4 基金」につきましては、平成28年度末の時点での基金残高は、財政調整基金が2億4,361万円、後期高齢者医療給付準備基金が94億7,202万6千円となっております。

以上で「歳入歳出決算書附属書類」の説明を終わらせていただきます。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

（挙手）

○議長（谷口修）

事務局次長。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

それでは最後に、別冊2「平成28年度主要な施策の成果説明書」について、主なものを御説明させていただきます。

恐れ入りますが、座って説明をさせていただきます。

まず一般会計についてでございます。4ページをお開きください。

「（2）後期高齢者医療特別会計繰出金事業」です。特別会計で行います、給付事業等に要する事務費といたしまして、一般会計から民生費として、特別会計へ7億1,750万9,105円を繰り出したものでございます。

続きまして、少し飛びます、特別会計について御説明いたします。

12ページをお開きください。

「（1）後期高齢者医療広報事業」でございます。後期高齢者医療制度の周知に係る広報活動を行い、制度の円滑な運営を図ったものでございます。平成28年7月に、被保険者証の更新に合わせまして、制度全般を詳しく紹介したパンフレットを作成し、同封して送付するなどいたしました。

続きまして、14ページをお開きください。「（3）医療費適正化対策事業」でございます。後期高齢者医療制度の安定的な運営を確保するための事業に取り組み医療費の適正化を図ったものでございます。事業の内容に記載しております表の上段、レセプト点検です。このレセプト点検は、国保連合会へ委託し、レセプトの点検や、交通事故等の第三者行為のレセプト抽出、レセプトデータ修正などを行ったもので、参考に掲げておりますとおり、平成28年度は1,246万3,985件の点検を実施し、合計で2万9,721件の再審査等を行いました。事業費は9,600万円でございます。

次の医療費通知は、不正請求の防止やコスト意識の向上を図るため、受診年月、医療機関名、日数、医療費の総額等を掲載し、年2回、延べ約73万件通知いたしました。事業費は、4,310万4,964円です。

15ページをご覧ください。後発医薬品、ジェネリック医薬品に関しましては、ジェネリック医薬品希望カードの新規加入者への配付のほか、後発医薬品差額通知を実施し、後発医薬品の利用促進等を図りました。この差額通知につきましては、平成28年度は、8月に37,859人に通知し、このうち後発医薬品切替者数は約42%にあたります16,259人、切替に係る財政効果推計額は、年額に換算して約3億2千万円と試算しております。事業費は、594万円です。

次の、重複・頻回受診者訪問指導は、レセプト情報等により選定した重複・頻回受診者に対しまして、保健師等により訪問指導を行い、適正受診を促進しました。平成28年度は、170人を訪問指導した結果、約15%の26人が改善されました。事業費は、298万800円でございます。

16ページをお開きください。

療養費支給申請書内容点検は、柔道整復に加え平成28年度から、鍼灸及びあん摩・マッサージに係る被保険者の支給申請書に対しまして内容点検を実施し、

一部の申請において調査を行い、適正な給付に努めることにより療養費の適正化を図ったものでございます。事業費は1,010万6,208円でございます。

17ページをご覧ください。

「(4)療養諸費事業」でございます。入院や入院外、歯科、調剤などの保険者負担分の療養給付費、コルセット等治療用装具を作製した場合などに給付される療養費等の給付を行ったものでございます。各費目の件数、日数、費用額等は一覧表のとおりで、合計の保険者負担額は、表の下から3行目の「小計」欄の右から2列目のとおり、額にして、3,590億5,866万3,523円となっております。

次に、19ページをお開きください。

「(5)高額療養諸費事業」でございます。月間で自己負担限度額を超えた場合に給付する高額療養費、年間の医療保険と介護保険の自己負担額を合算した額が基準額を超えた場合に給付する高額介護合算療養費の給付を行ったもので、それぞれの件数と保険者負担額は上の表のとおりで、合計で149億3,422万1,794円となっております。

20ページをお開きください。

「(6)葬祭費事業」でございます。被保険者が死亡した場合、葬祭を行った方に対して3万円を支給するもので、平成28年度は合計で2万2,487件、額にして6億7,461万円を支給しております。

21ページをご覧ください。「(7)健康診査費補助事業」です。これは、市町が実施した後期高齢者の健康診査事業と歯科健康診査事業に対しまして、1億2,784万4千円の補助金を交付し、受診を促進したものでございます。まず、1の健康診査事業の受診者数は33,391人で、前年度に比べ、受診者が4,173人、受診率は1ポイント増加しております。また、2の歯科健康診査事業の受診者数は412人、受診率は0.11%となっております。引き続き、市町の取組に協力し、受診率の向上に努めてまいりたいと考えております。

22ページをお開きください。

「(8)健康増進費補助事業」でございます。これは市町が実施する、表にあります6つの区分の長寿・健康増進事業に対して補助金を交付し、被保険者の健康づくりを促進したものでございます。28年度は、延べ34市町の事業に対し、1億6,598万1,110円の補助金を交付いたしました。

23ページをご覧ください。

低栄養防止・重症化予防等推進事業でございます。これは平成28年度から開始した補助制度で、1市1町に対して、789万5千円の補助金を交付しております。

別冊2の説明は以上でございます。なお、監査委員の意見書の説明は省略させていただきますが、平成28年度の歳入歳出決算書等につきましては、8月21日に監査委員の報告審査をいただき、いずれも関係法令に準拠して作成され

ており、計数は正確であり、また、予算の執行は、適正であると認めていただきました。

以上で「議案第 13 号 平成 28 年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定」についての説明を終わらせていただきます。

御審議の上、認定を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（谷口修）

以上で事務局よりの説明を終わります。

本件の質疑については発言の通告がありませんので、本件質疑を終結いたします。

次に討論ですが、発言の通告がありませんので、本件討論を終結いたします。本件を採決いたします。

本件は、原案のとおり認定することに賛成の方は御起立をお願いいたします。

（賛成者起立）

○議長（谷口修）

起立総意。よって、本件は認定されました。

△ 日程第 6 「議案第 14 号 広島県後期高齢者医療広域連合職員の育児休業等に関する条例の一部改正について」

○議長（谷口修）

次に日程第 6 「議案第 14 号 広島県後期高齢者医療広域連合職員の育児休業等に関する条例の一部改正について」を議題といたします。

本件の説明を求めます。

◎広域連合事務局長（守田利貴）

（挙手）

○議長（谷口修）

広域連合事務局長。

◎広域連合事務局長（守田利貴）

ただ今上程されました議案につきまして、御説明申し上げます。

議案書の 14 ページ、及び別冊 4 の「平成 29 年第 2 回広域連合議会定例会議案資料」をお開きください。説明は、別冊 4 の議案資料に基づきさせていただきます。

「議案第 14 号 広島県後期高齢者医療広域連合職員の育児休業等に関する条例の一部改正について」でございます。

1 の改正の趣旨でございますが、人事院規則の一部改正に伴いまして、広島県後期高齢者医療広域連合職員の育児休業等に関する条例に関して必要な改正を行うものでございます。

2 の改正内容でございます。人事院規則の改正によりまして、再度の育児休業をすることができる特別の事情、育児休業の期間の再度の延長ができる特別の事情及び育児短時間勤務の終了の日の翌日から起算して 1 年を経過しない場合に育児短時間勤務をすることができる特別の事情に、それぞれ当該子につきまして、保育所等における保育の利用を希望し、申込みを行っているが、当面その実施が行われないことを追加するものでございます。

3 の施行期日は、公布の日からでございます。

以上、上程されました議案につきまして概要を御説明申し上げました。御審議の上、議決を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（谷口修）

本件の質疑についても、発言の通告がありませんので、質疑を終結いたします。

討論ですが、発言の通告がありませんので、討論を終結いたします。

本件を採決いたします。

本件は、原案のとおり可決することに賛成の方は御起立をお願いいたします。

（賛成者起立）

○議長（谷口修）

起立総意。よって、本件は可決されました。

△ 日程第 7 「議案第 15 号 平成 29 年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第 1 号）」

○議長（谷口修）

次に日程第7 「議案第15号 平成29年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第1号）」を議題といたします。

本件の説明を求めます。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

（挙手）

○議長（谷口修）

広域連合事務局次長。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

ただいま、上程されました議案につきまして、御説明申し上げます。

「議案第15号 平成29年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第1号）について」でございます。

恐れいりますが、座って説明をさせていただきます。

それでは、議案書の16ページをお開きください。

一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ5万2千円を追加し、予算の総額をそれぞれ11億2,159万6千円とするものでございます。

この補正の主な内容については、平成28年度決算剰余金を、それぞれ歳入歳出予算に計上し、財政調整基金へ積立をするものでございます。

17ページをご覧ください。

歳入でございますが、「5款 繰越金」「1項 繰越金」の5万2千円の追加は、平成28年度の決算剰余金を計上したものでございます。

続きまして、18ページをお開きください。

歳出ですが、「2款 総務費」「1項 総務管理費」の5万2千円の追加は、平成28年度の決算剰余金について、財政調整基金へ積立する額を計上したものでございます。

以上、上程されました議案につきまして概要を御説明申し上げます。

御審議の上、議決を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（谷口修）

本件の質疑についても、発言の通告がありませんので、質疑を終結いたします。

次に討論ですが、発言の通告がありませんので、本件討論を終結いたします。本件を採決いたします。

本件は、原案のとおり可決することに賛成の方は御起立をお願いします。

(賛成者起立)

○議長（谷口修）

起立総意。よって、本件は可決されました。

**△ 日程第 8 「議案第 16 号 平成 29 年度広島県後期高齢者医療広域
連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）」**

○議長（谷口修）

次に日程第 8 「議案第 16 号 平成 29 年度 広島県後期高齢者医療広域連
合後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）」を議題とします。

本件の説明を求めます。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

（挙手）

○議長（谷口修）

広域連合事務局次長。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

ただいま、上程されました議案につきまして、御説明申し上げます。

「議案第 16 号 平成 29 年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療
特別会計補正予算（第 1 号）」についてでございます。

恐れ入りますが、座って説明をさせていただきます。

議案書の 19 ページをお開きください。

特別会計補正予算（第 1 号）は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ
82 億 5,880 万 8 千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 4,085 億 522 万
円とするものでございます。

この度の補正の主な内容といたしましては、平成 28 年度市町負担金、国庫負
担金等の精算に伴う追加納付額又は返還金に係るものと、国から提供されてお
りました電算処理システムのプログラム誤りが原因で生じた保険料の算定
誤りに伴う追加納付額又は返還金に係るものにつきまして、それぞれ歳入歳出

予算に計上するとともに、財源といたしまして平成 28 年度決算剰余金を繰越金とし、保険料算定誤りに伴う調整交付金を国庫支出金として追加し、決算剰余金の残額については、後期高齢者医療給付準備基金積立金を計上するものでございます。

20 ページをお開きください。

まず、歳入です。「1 款 市町支出金」「1 項 市町負担金」の 7 億 9,728 万 3 千円の追加は、平成 28 年度の市町負担金の精算及び、先ほど御説明を申し上げました保険料の算定誤りに伴い、市町から広域連合へ追加納付していただく額を計上したものでございます。「2 款 国庫支出金」「2 項 国庫補助金」の 68 万 2 千円の追加は、保険料の算定誤りに関連して発生いたしました還付加算金につきましては、特別調整交付金の交付対象となることから、国から広域連合へ交付される特別調整交付金を計上したものでございます。「8 款 繰越金」「1 項 繰越金」の 74 億 3,445 万 2 千円の追加は、平成 28 年度の決算剰余金を計上したものでございます。「10 款 諸収入」「1 項 延滞金、加算金及び過料」の 34 万円の追加、及び、「3 項 雑入」の 2,605 万 1 千円の追加は、平成 28 年度の保険料延滞金、市町が実施いたしました保健事業、保険料還付金等の精算に伴い、市町から広域連合に返還していただくものでございます。

続きまして、21 ページをご覧ください。

歳出でございますが、「5 款 基金積立金」「1 項 基金積立金」の 12 億 2,205 万 7 千円の追加は、平成 28 年度からの繰越金と国庫支出金等の精算及び保険料の算定誤りに伴う返還金との差額につきまして、後期高齢者医療給付準備基金へ積み立てる額を計上したものでございます。「7 款 諸支出金」「1 項 償還金及び還付加算金」の 70 億 3,675 万 1 千円の追加は、平成 28 年度国庫支出金等の精算及び保険料の算定誤りに伴い、市町、国及び県へ返還する額を計上したものでございます。

以上、上程されました議案について概要を御説明申し上げます。

御審議の上、議決を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（谷口修）

本件につきましても、質疑の発言通告がありませんので、質疑を終結いたします。

討論も、発言通告がありませんので、本件討論を終結いたします。

それでは本件を採決いたします。

本件は、原案のとおり可決することに賛成の方、御起立をお願いいたします。

（賛成者起立）

○議長（谷口修）

起立総意。よって、本件は可決されました。

○議長（谷口修）

以上をもちまして、本定例会に付議された事件は、全て終了いたしました。閉会に当たり、広域連合長の挨拶があります。

◎広域連合長（藏田義雄）

平成 29 年第 2 回広域連合議会定例会の閉会ということで、一言御挨拶を申し上げます。まずもって議員各位におかれましては、提案をさせていただきました各議案につきまして、慎重に御審議の上、適切なる御議決を賜ったところでございます。厚く御礼を申し上げます。

引き続き、安定した制度の運営に向けまして、今後とも、皆様の格別なる御支援、御協力を賜りますよう、お願いを申し上げまして御挨拶とさせていただきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

○議長（谷口修）

議員各位におかれましては、案件について、熱心に御審議をいただきまして、無事閉会の運びとなりました。皆様の御協力に対し、心から御礼申し上げる次第です。これをもちまして、本定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午後 2 時 5 3 分 閉 会

地方自治法第 123 条第 2 項の規定により署名する。

広島県後期高齢者医療広域連合議会議長 谷口修

広島県後期高齢者医療広域連合議会臨時議長 山本一也

広島県後期高齢者医療広域連合議会議員 棗田澄子

広島県後期高齢者医療広域連合議会議員 中川ゆかり